

卒業生との絆ニュースNo. 60 千葉大学の学生が各賞を受賞しました。

卒業生の皆様

このたび、千葉大学の学生が、各賞を受賞しておりますので、皆様にご紹介いたします。後輩たちの活躍をご覧ください。

◆第26回読売広告大賞「読者が創る広告の部」大賞を受賞◆

工学研究科デザイン科学専攻博士前期課程1年生の岩原一平さん、吉武美生さんの提案が、第26回読売広告大賞「読者が創る広告の部」で見事大賞を受賞しました。

同賞は、協賛社のテーマをもとにして、プロ・アマを問わず新聞広告作品を募集し、顕彰するコンテストです。

応募者は自由にクライアントを選び、新聞広告を制作します。

毎年、1,500点を超える作品が集まる大きな広告賞です。

受賞したのは、協賛社のシヤチハタの油性マーカー「Artline乾きまペン」をテーマに、ふたを開けたままでも最大で2週間乾かないペン先をユーモラスに表現した作品です。

こちらでその作品を見ることができます。
<http://www.yomiuri.co.jp/adv/award/yaa/create/26/>

◆iGEM2009『金賞』受賞◆

共生応用化学科3年生(2名)と理学部生物学科3年生(1名)の学部横断型の学生チームがiGEM2009(The International Genetically Engineered Machine Competition)で栄誉ある金賞を受賞しました。

iGEMは、生物工学版の“ロボコン”です。BioBrick財団が供給する規格化された遺伝子パーツを組み上げて、オリジナルな遺伝子回路をつくります。これを細胞(多くは微生物)に実装して、その性能とアイデアを競います。

10月31日~11月2日にマサチューセッツ工科大学(MIT)で行われたiGEM大会には、我が千葉大学チームをはじめ、25カ国から112の大学チームが参加しました。

千葉大学チームは、共生応用化学科の学生(2,3年生)を主とした編成で、4年前から毎年参加してきたアジア老舗チームです。

今年度は理学部生物学科の3年生1名が加わり、学部を横断したチームとして参加しました。千葉大学チームはこれまで、Most Brainstorming賞(2006)、銅賞(2007)、銀賞(2008)などを受賞し、年々その実力を練り上げてきました。

詳細につきましては、こちらをご覧ください。
<http://www.eng.chiba-u.ac.jp/outNews.tsv?r1t=1&no=801>

◆第2回企業に開発してほしい 未来の夢アイデア・コンテスト『テクノルネサンス・ジャパン賞』受賞◆

工学部共生応用化学専攻触媒化学教育研究分野所属の学生の「PAINT-LIGHT」のアイデアが、日本経済新聞社主催の「第2回企業に開発してほしい未来の夢アイデア・コンテスト」において、『テクノルネサンス・ジャパン賞』を受賞しました。

こちらは、「企業に開発してほしい未来の夢」を応募テーマに、理工系の学生たちが独自のアイデアに基づいた技術やビジネスモデルなどを提案するコンテストです。

絆ニュースNo.60

今回、千葉大学島津研究室は、超次世代ライト「PAINT-LIGHT」というアイデアで応募し、同賞を受賞いたしました。

このPAINT-LIGHTは、ペンキのように塗るだけの照明で、サイズ・形状の制御が容易であることや場所を選ばず原料があればあらゆる場所が照明になるという利点があるそうです。

詳細につきましては、こちらをご覧ください。

<http://www.eng.chiba-u.ac.jp/outNews.tsv?rlt=1&no=808>
